

2021 年度日本小児血液・がん学会 再生不良性貧血・MDS 委員会報告

委員：濱 麻人（委員長）、坂下一夫、神尾卓哉、石村匡崇、本田裕子、高橋義行、嶋田明、平林真介

1. 2021 年 10 月 13 日に 2021 年度再生不良性貧血・MDS 委員会を WEB で開催した。
2. 形態中央診断中止後の動向

学会形態中央診断後の状況について、最新の状況を学会ホームページに掲載し、学会員に周知している。疾患の全国的な集積は日本小児血液・がん学会疾患登録で行い、各登録数の変化を追跡する。進捗状況については、小児再生不良性貧血治療研究会など関連集会・会議などで随時報告を行っている。

疾患	研究	項目・解析施設
AA, RCC, RCMD (MDS-MLD)	小児再生不良性貧血治療研究会	末梢血・骨髓塗抹標本、テロメア長、PNH 血球（名古屋大学小児科）、骨髓病理標本（静岡県立こども病院病理部）
Advanced MDS	JPLSG CHM-14	形態、FCM、染色体、遺伝子解析
JMML	JPLSG CHM-14	GM-CSF hypersensitivity RAS 関連遺伝子解析（名大小児科）
IBMFS	先天性造血不全ターゲットシーケンス	ターゲットシーケンス（名大小児科）

3. 中央診断登録症例において予後調査を行い RCC の臨床的意義について検討した研究が論文化された。  
Prospective validation of the provisional entity of refractory cytopenia of childhood, proposed by the World Health Organization (Hama A, et al: Br J Haematol 2021)
4. Pearson 症候群、MDS-EB についての全国調査を計画中である。
5. 難病プラットフォームについて  
難病プラットフォームでの先天性骨髓不全症のレジストリが開始され、DBA を中心に登録を進めている。
6. 特発性造血障害研究班（三谷班）での活動  
AYA、若年成人の GATA2 異常症を中心とした先天性素因について、成人血液内科と共同して調査研究を行っている。

（文責： 濱 麻人）